



利用者の体力や気力に合わせて、寝たきりの方も利用できる「輪投げ」、リハビリ的な効果に着目した「けん玉」、「紙ボールと紙の玉入れ」など、さまざまな視点で創作しました。

「支え」「理解者」とは何かを考える

平成28年度
介護施設職員と専門学校生との
レクリエーション交流・情報交換会



21世紀委員会が生徒の質問に応じる 人材確保や人材育成を目指して

岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会21世紀委員会主催の「介護施設職員と専門学校生とのレクリエーション交流・情報交換会」が、7月22日に盛岡市のマリオス会議室で開かれました。

同21世紀委員会は高齢者福祉協議会の中で、人材確保や人材育成

のために積極的に活動している若手中心の組織です。

同交流・情報交換会（以下、交換会）には盛岡医療福祉専門学校介護福祉科の1～2年生57名と、学生の指導・助言に当たる21世紀委員会委員ら15名が参加しました。

交換会では、特別養護老人ホーム光寿苑苑長太田宣承氏の講演「介護職の専門家に成りたいか、



21世紀委員会委員が生徒達の質問に応じました

岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会 21世紀委員会

21世紀委員会は県社協高齢協の会員施設に所属する若手経営者、経営管理担当者、介護支援専門員、生活相談員らが中心となる組織です。

委員の相互研鑽及び会員施設職員の資質向上を図るとともに、介護現場に密着した、新しい時代にふさわしい制度、施設経営、サービスの構築を目指し、老人福祉の発展に寄与することを目的に活動しています。

介護人材の確保が全国的な課題の中、これまで人材確保や人材育成のために「施設職員間のスポーツ交流・情報交換会」など様々な事業を実施しています。



21世紀委員会委員長
中目 幸晴 氏

委員は県内5ブロックより3名ずつ選出し、15名で組織しています。

暮らしに寄り添う人に成りたいか」のほか、「お年寄りの皆さまが楽しめるレクリエーション・ゲームづくり」が行われました。

ゲームづくりでは数グループに分かれた学生が、牛乳パックやダンボールなど限られた素材を利用

暮らしが可能なか▽仕事で一番大変なこと▽利用者とのどんな話をしたらよいか▽話題提供や技術面▽やりがい・働く際の注意点▽補助や介護で気をつけていること等）などについて、各委員が分かりやすく丁寧に説明。

生徒達の顔には納得の表情が広がりました。

処遇や現場環境などを説明

その後は、事前に生徒が21世紀委員会に「処遇」「現場環境」「仕事」「就職」などについて質問した（※質問例は▽こういう施設で働きたい▽給料・初任給▽ひとり暮らしが可能なか▽仕事で一番大変なこと▽利用者とのどんな話をしたらよいか▽話題提供や技術面▽やりがい・働く際の注意点▽補助や介護で気をつけていること等）などについて、各委員が分かりやすく丁寧に説明。

生徒達の顔には納得の表情が広がりました。